

製品説明書

日本特殊塗料株式会社

プルーフロング-200エコ・G-200エコNS

1. 塗料系 : ウレタン樹脂系塗料
2. 製品名 : プルーフロング-200エコ・G-200エコNS
3. 特長
 - 1液タイプのウレタン防水材で、2液タイプに比べ攪拌不足による硬化不良が発生しません。
 - 取扱いが簡単で作業性も大幅に向上しています。
 - 物性はJIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形(旧類)を満足し長期にわたって高い塗膜性能を発揮します。
 - 環境対応型のウレタン防水材です。鉛、トルエン、キシレンを配合していません。
シックハウス症候群の原因とされている『ホルムアルデヒド』などの化学物質を使用していません。
厚生労働省・室内濃度環境指針値 14の有害物質を使用していません。
4. 用途
 - ベランダ、バルコニー、屋上、厨房などの防水

5. 塗料性状

品名	プルーフロング-200エコ	プルーフロング-200エコNS
使用場所	平場用	立上り用
粘度 (mPa・s/23°C)	5000	10000
荷姿	9 kg	5kg
色	グレー	グレー
硬化物密度	1.3	1.4
加熱残分	96 %	93 %

注) 塗料性状は、規格値ではありません。

6. 塗装基準

品名	プルーフロング-200エコ	プルーフロング-200エコNS		
塗装方法	コテ、ローラー、ヘラ			
使用シンナー	原液のまま使用			
標準塗布量 (1回塗り)	1.3 kg/m ²	1.4 kg/m ²		
膜厚	Wet	1300 μm	1400 μm	
	Dry	1000 μm (1mm)	1000 μm (1mm)	
塗り重ね時間 目安 (1mm厚)	温度	5°C	25°C	35°C
	最小	22時間	8時間	6時間
	最大	72時間	48時間	48時間

7. 関連法規

品名	プルーフロング-200エコ	プルーフロング-200エコNS
危険物表示	第4類 第2石油類 危険等級Ⅲ	非危険物 指定可燃物
有機溶剤区分	なし	
労安法有害物表示	・メチレンビス (4,1-フェニレン) =ジイソシアネート ・トリレンジイソシアネート	
劇物表示	なし	
P R T R 法該当	・メチレンビス (4,1-フェニレン) =ジイソシアネート ・トリレンジイソシアネート	

8. 推奨仕様

8-1. 一般平場仕様 (PM-CE20G工法) 平均膜厚2.0mm

工程	材料の調合	施工方法	可使時間	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23°C)
素地調整	●エフロ、レイトンス、汚れなどを除去し、乾燥した清掃な面にしてください。(モルタル、コンクリート面の場合)				
下塗	●ブルーフロンプライマー (SまたはU) 16 (4) kg (原液のまま使用)	●ローラー ●刷毛	—	0.2	3~24時間以内
防水材 (1回目)	●ブルーフロンC-200エコ (原液のまま使用) 9kg	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.3	16~48時間以内
防水材 (2回目)	●ブルーフロンC-200エコ (原液のまま使用) 9kg	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.3	16~48時間以内
上塗	●ブルーフロンGRトップ A液 15 (5) kg ●ブルーフロンGRトップ B液 3 (1) kg ●ブルーフロンGRトップシンナー 0~3.6 kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	4時間以内 (23°C)	0.2	歩行可能: 12時間以上 養生時間: 48時間以上

8-2. 一般立上り仕様 (PMT-CE20G工法) 平均膜厚2.0mm

工程	材料の調合	施工方法	可使時間	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23°C)
素地調整	●エフロ、レイトンス、汚れなどを除去し、乾燥した清掃な面にしてください。(モルタル、コンクリート面の場合)				
下塗	●ブルーフロンプライマー (SまたはU) 16 (4) kg (原液のまま使用)	●ローラー ●刷毛	—	0.2	3~24時間以内
防水材 (1回目)	●ブルーフロンC-200エコNS (原液のまま使用) 5kg	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.4	16~48時間以内
防水材 (2回目)	●ブルーフロンC-200エコNS (原液のまま使用) 5kg	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.4	16~48時間以内
上塗	●ブルーフロンGRトップ A液 15 (5) kg ●ブルーフロンGRトップ B液 3 (1) kg ●ブルーフロンGRトップシンナー 0~3.6 kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	4時間以内 (23°C)	0.2	歩行可能: 12時間以上 養生時間: 48時間以上

8-3. 一般平場仕様 (PG-CE20G工法) 補強布入り、平均膜厚2.0mm

工程	材料の調合	施工方法	可使時間	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23°C)
素地調整	●エフロ、レイトンス、汚れなどを除去し、乾燥した清掃な面にしてください。(モルタル、コンクリート面の場合)				
下塗	●ブルーフロンプライマー (SまたはU) 16 (4) kg (原液のまま使用)	●ローラー ●刷毛	—	0.2	3~24時間以内
接着用 防水材	●ブルーフロンC-200エコ (原液のまま使用) 9kg	●コテ ●ヘラ	—	0.3	直ちに
補強布 貼り	●ガラスクロス (補強布) を浮き、シワに注意して張り付ける。重ねしろ50mm				直ちに
防水材 (1回目)	●ブルーフロンC-200エコ (原液のまま使用) 9kg	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.1	16~48時間以内
防水材 (2回目)	●ブルーフロンC-200エコ (原液のまま使用) 9kg	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.2	16~48時間以内
上塗	●ブルーフロンGRトップ A液 15 (5) kg ●ブルーフロンGRトップ B液 3 (1) kg ●ブルーフロンGRトップシンナー 0~3.6 kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	4時間以内 (23°C)	0.2	歩行可能: 12時間以上 養生時間: 48時間以上

8-4. 一般立上り仕様 (PGT-CE20G工法) 補強布入り、平均膜厚2.0mm

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23°C)
素地調整	●エフロ、レイトランス、汚れなどを除去し、乾燥した清掃な面にしてください。(モルタル、コンクリート面の場合)				
下塗	●プルーフロンプライマー (SまたはU) 16 (4) kg (原液のまま使用)	●ローラー ●刷毛	—	0.2	3~24時間以内
接着用 防水材	●プルーフロンC-200エコNS 9kg (原液のまま使用)	●コテ ●ヘラ	—	0.4	直ちに
補強布 貼り	●ガラスクロス (補強布) を浮き、シワに注意して張り付ける。重ねしろ50mm				直ちに
防水材 (1回目)	●プルーフロンC-200エコNS 9kg (原液のまま使用)	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.1	16~48時間以内
防水材 (2回目)	●プルーフロンC-200エコNS 9kg (原液のまま使用)	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.3	16~48時間以内
上塗	●プルーフロンGRトップ A液 15 (5) kg ●プルーフロンGRトップ B液 3 (1) kg ●プルーフロンGRトップシンナー 0~3.6 kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	4時間以内 (23°C)	0.2	歩行可能: 12時間以上 養生時間: 48時間以上

8-5. 環境対応平場仕様 (PM-CE20WG工法) 平均膜厚2.0mm

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23°C)
素地調整	●エフロ、レイトランス、汚れなどを除去し、乾燥した清掃な面にしてください。(モルタル、コンクリート面の場合)				
下塗	●プルーフロンエコ水性プライマー A液 8kg ●プルーフロンエコ水性プライマー B液 8kg ●水 0~2kg	●ローラー ●刷毛	40分 (23°C)	0.2	3~24時間以内
防水材 (1回目)	●プルーフロンC-200エコ 9kg (原液のまま使用)	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.3	16~48時間以内
防水材 (2回目)	●プルーフロンC-200エコ 9kg (原液のまま使用)	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.3	16~48時間以内
上塗 (1回目)	●プルーフロンエコ水性GRトップ A液 10kg ●プルーフロンエコ水性GRトップ B液 1kg ●水 0~0.2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	1時間 (23°C)	0.2	歩行可能: 24時間以上 養生時間: 48時間以上

8-6. 環境対応立上り仕様 (PMT-CE20WG工法) 平均膜厚2.0mm

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23°C)
素地調整	●エフロ、レイトランス、汚れなどを除去し、乾燥した清掃な面にしてください。(モルタル、コンクリート面の場合)				
下塗	●プルーフロンエコ水性プライマー A液 8kg ●プルーフロンエコ水性プライマー B液 8kg ●水 0~2kg	●ローラー ●刷毛	40分 (23°C)	0.2	3~24時間以内
防水材 (1回目)	●プルーフロンC-200エコNS 5kg (原液のまま使用)	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.4	16~48時間以内
防水材 (2回目)	●プルーフロンC-200エコNS 5kg (原液のまま使用)	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.4	16~48時間以内
上塗 (1回目)	●プルーフロンエコ水性GRトップ A液 10kg ●プルーフロンエコ水性GRトップ B液 1kg ●水 0~0.2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	1時間 (23°C)	0.2	歩行可能: 24時間以上 養生時間: 48時間以上

8-7. 環境対応平場仕様 (PG-CE20WG工法) 補強布入り、平均膜厚2.0mm

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23°C)
素地調整	●エフロ、レイトランス、汚れなどを除去し、乾燥した清掃な面にしてください。(モルタル、コンクリート面の場合)				
下塗	●ブルーフロンエコ水性プライマー A液 8kg ●ブルーフロンエコ水性プライマー B液 8kg ●水 0~2kg	●ローラー ●刷毛	40分 (23°C)	0.2	3~24時間以内
接着用 防水材	●ブルーフロンC-200エコ (原液のまま使用) 9kg	●コテ ●ヘラ	—	0.3	直ちに
補強布 貼り	●ガラスクロス(補強布)を浮き、シワに注意して張り付ける。重ねしろ50mm				直ちに
防水材 (1回目)	●ブルーフロンC-200エコ (原液のまま使用) 9kg	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.1	16~48時間以内
防水材 (2回目)	●ブルーフロンC-200エコ (原液のまま使用) 9kg	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.2	16~48時間以内
上塗	●ブルーフロンエコ水性GRトップ A液 10kg ●ブルーフロンエコ水性GRトップ B液 1kg ●水 0~0.2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	1時間 (23°C)	0.2	歩行可能: 24時間以上 養生時間: 48時間以上

8-8. 環境対応立上り仕様 (PGT-CE20WG工法) 補強布入り

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23°C)
素地調整	●エフロ、レイトランス、汚れなどを除去し、乾燥した清掃な面にしてください。(モルタル、コンクリート面の場合)				
下塗	●ブルーフロンエコ水性プライマー A液 8kg ●ブルーフロンエコ水性プライマー B液 8kg ●水 0~2kg	●ローラー ●刷毛	40分 (23°C)	0.2	3~24時間以内
接着用 防水材	●ブルーフロンC-200エコNS (原液のまま使用) 5kg	●コテ ●ヘラ	—	0.4	直ちに
補強布 貼り	●ガラスクロス(補強布)を浮き、シワに注意して張り付ける。重ねしろ50mm				直ちに
防水材 (1回目)	●ブルーフロンC-200エコNS (原液のまま使用) 5kg	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.1	16~48時間以内
防水材 (2回目)	●ブルーフロンC-200エコNS (原液のまま使用) 5kg	●コテ ●ローラー ●ヘラ	—	1.3	16~48時間以内
上塗	●ブルーフロンエコ水性GRトップ A液 10kg ●ブルーフロンエコ水性GRトップ B液 1kg ●水 0~0.2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	1時間 (23°C)	0.2	歩行可能: 24時間以上 養生時間: 48時間以上

9. 下地に対する推奨プライマー

下地	推奨プライマー
モルタル、コンクリート	●ブルーフロンプライマーS ●ブルーフロンプライマーU ●ブルーフロンエコ水性プライマー ●ブルーフロンエコプライマー
鋼板、鋳物	●シルビア金属用プライマーM
アルミ板、ステンレス板、ガルバニウム板、鉛、ブリキ、亜鉛メッキ板	●エポラ#3プライマー
旧ウレタン塗膜 防水材下地	●ブルーフロンプライマーU 倍希釈 ●ブルーフロンエコプライマー 倍希釈

10. 施工上の注意点

- 高温、高湿度下、5～35℃以外の雰囲気温度下での施工はできるだけ避けてください。
- 下地のレイタンス、砂、ほこり、ゴミは完全に除去してください。
- 材料は攪拌機を使用して十分に攪拌してから使用ください。
- 溶剤希釈はできません。硬化不良の原因となりますのでご注意ください。
- 湿気硬化形です。一度に多量の塗布をすると硬化が遅くなる原因となります。
- 開封した塗料は必ず使いきってください。湿気硬化のため、開封後は硬化します。
- 直射日光の当たらない場所へ材料を保管してください。

11. 取り扱い上の注意

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。
こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器は、つり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。（偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。）
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要の応じ医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使い切ってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照ください。

製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

以上